

2010年、サンダンス映画祭で観客が熱狂した!

Sundance: On Enter the Void,
"Avatar, and Magic Mushrooms"

映画史上空前のタブー映像、日本上陸!

究極の快樂をついに映像化!

鬼才ギャスパー・ノエが挑む限界表現!!

全世界が震撼した衝撃作「アレックス」から7年一作ごとに論争を巻き起こし観客を挑発し続けるフランスの鬼才ギャスパー・ノエ。09カンヌ国際映画祭、そして10サンダンス映画祭を熱狂させた彼の最新作もちろん、これまで以上に強烈でセンセーショナルな刺激で見る者を圧倒する。それは、究極の愛と快樂を求める孤独な魂が、欲望渦巻くサイケデリックな魔都「TOKYO」を浮遊する、かつてないスタイルのバーチャル・トリップ・ムービーだ。



『アバター』のVFXクリエイターが仕掛ける

驚異の **マジックマッシュルーム3D** 映像体験!!

『アバター』のSFXクリエイター、ピエール・ブファン率いるフランスのVFX工房BUFが創造したマジックマッシュルーム3D映像感覚で繰り広げられる、セックス、ドラッグ、死、そして輪廻転生...、その驚異のビジュアルは3D映画以上に脳髄を刺激する、まったく新しい映像体験として、すでに世界中の観客たちをハイパーにトリップさせている。



さまよえる愛の輪廻。

魔都TOKYO、**セックス&ドラッグ**、輪廻転生。

TOKYO。あてもなく日本にやってきたオスカーは定職を持たず、日々ドラッグに溺れながら、ディーラーをして金を稼ぎ、最愛の妹リンダを日本に呼び寄せた。やがてリンダは、夜の街で知り合った男に誘われ、ストリップ劇場のボールダンサーとして働くようになる。ある晩、オスカーは警察の取り締まりを受け、銃で撃たれてしまう。彼の意識はしだいに薄れ、その魂はかつてない陶酔に包まれながら肉体から離脱する。愛するリンダと離れたくないオスカーの魂は、死を受け入れることができず、欲望と犯罪が渦巻くTOKYOに翻弄される妹の姿を追って、夜の街をさまよい、浮遊するのだった...



監督/脚本:ギャスパー・ノエ 出演:ナサニエル・ブラウン、パス・デ・ラ・ウエルタ、シリル・ロイ
製作:ブラヒム・シウア、ヴァンサン・マラヴァル、オリヴィエ・デルボスク、マルク・ミノニエ、ピエール・ブファン、ギャスパー・ノエ 撮影:ブノワ・デビー
音楽:トーマ・バンガテル(ダフト・パンク) SFX:ピエール・ブファン 協力: Agnès B. 配給:コムストック・グループ

2010年/フランス/35mm/カラー/ドルビー/英語/143分

